

## 2. 「那智勝浦町すこやかプラン」の理念

### 1) 基本理念

人々の生活水準は向上し平均寿命は、まさに人生80年といわれる時代が到来しました。

一方で、ただ平均寿命を延ばすことだけではなく、全ての住民が人生を最後までその人らしく心豊かな生活を送れることが大切であり、そのためには、『健康寿命』（認知症や寝たきりにならないで自立した生活が出来る期間）が延長することが重要となっています。この健康寿命を延伸するために、3大生活習慣病による様々な問題を解決することが重要であり、健康に関する取り組みが必要となっています。

具体的には、住民がいつでも、どこでも安心して暮らすことが出来るよう質の高い保健・医療・福祉サービスを的確かつ安定して受けられる体制を確保することが必要です。

また、住民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持って、健康づくりに主体的に取り組めるような環境づくりを進めることも大切になります。

さらには、次世代を担う子どもを安心して出産し、健やかに育てることが出来る環境づくりなど少子高齢化社会に対応した保健・医療・福祉機能の充実を図っていくことも必要です。

那智勝浦町では、第7次那智勝浦町長期総合計画において町の将来像である『豊かさやさしさが溢れるまち』を実現するための基本方針の1つとして、「健やかでやさしいまちづくり」を掲げ、住民の健康と安全を守り、福祉を充実し、明るいコミュニティづくりを推進しています。また、5つのリーディングプロジェクトの1つとして、「健康で元気な町民づくりプロジェクト」を掲げています。

#### 【第7次那智勝浦町長期総合計画抜粋】

##### ◎将来像

『豊かさやさしさが溢れるまち』

##### ◎健やかでやさしいまちづくり（基本方針の1項目）

行政にはすべての町民が健康で文化的な生活を享受するよう、努める責務があります。社会的・経済的に配慮を要する人々に対してやさしい町は、すべての町民が安心して生活を送ることのできる町と言えます。そのような町をつくるために福祉・健康・医療・救急体制の充実、コミュニティ活動の活性化、男女共同参画の実現、人権・同和行政の推進を図る必要があります。

○社会福祉・社会保障の充実

○保健・医療の充実

○消防・防災体制の整備

○コミュニティ活動の推進

○男女共同参画社会の実現

○人権・同和行政の推進

##### ◎健康で元気な町民づくりプロジェクト（リーディングプロジェクトの1つ）

このプロジェクトでは、少子・高齢化が今後も進んでいくことを踏まえ、国の「健康日本21」で定められている健康に関する活動の展開や、温泉と自然を活用した健康づくりシステムを構築し、生涯を通じて誰もが楽しめるまちづくりを進めるとともにすべての町民が『健康で元気に暮らせるまちづくり』をめざします。

<主な取り組み>

①ユニバーサルデザインに基づいたまちづくりの推進

②「熊野文化に親しみながら健康になる」活動の実施

③保健・福祉・医療の連携

## 【基本理念】

みんな すこやか 安心の町

那智勝浦

WHO（世界保健機関）の定義では、健康とは「何事に対しても前向きな姿勢で取り組めるような、精神及び肉体、さらに社会的にも適応している状態をいう」となっています。那智勝浦町ではこの定義を受け、健康とは、住民が自立して、自分や地域を大切に、元気にその人らしく生きていくことと考えます。

健康に関する問題は、基本的に個人個人の取り組みを抜きにして解決できませんが、近年の社会環境の変化やライフスタイルの多様化、食生活の変化等により、住民のみ、行政のみの対応で進めることは、ますます困難な時代になっています。

住民一人ひとりが、健康を育むことも大切ですが、住民、住民団体、健康に関わる人々、企業、行政の役割分担を明確にし、お互いに協力しながら那智勝浦町一体となって住民の健康を育んで行かなければなりません。

今後、さらに高齢社会が進む中、できるかぎり住み慣れた地域で生活を続けていくためには、健康づくりや保健・医療・福祉サービスの向上がより重要なこととなります。

この構想は、住民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むとともに、身近な地域で、健やか・安全な保健・医療・福祉サービスが受けられる安心のまちづくりの実現を目指しています。

- ①住民一人ひとりが自分や回りの人を大切に、その人らしく生きている（自助）
  - ・自分の健康は自分で守り育てるという意識の普及と、住民の主体的な健康づくりに対する取り組みの推進を図ります。
- ②住民一人ひとりを取り巻く地域や団体が協力し、助け合って健康を実現している（互助）
  - ・住民の取り組みを支える家族・学校・企業・医療関係機関等の保健・医療・福祉に対する活動の充実を図ります。
- ③健康を実現するための支援や、健康の視点からまちづくりを行っている（公助）
  - ・行政は、保健・医療・福祉にかかわる情報の提供や資源の整備など、住民の健康を支える幅広い取り組みの充実強化を図ります。

## 2) 基本方針

基本理念を実現するために、次の3つの基本方針を掲げ、この構想を作成します。

### ①健康づくり・保健対策の推進

健康づくりは、住民一人ひとりが主体的に取り組み、健康の意義を発見し、それぞれの健康に対する考え方に応じた活動や生活を通して実現するものです。しかし、個人の健康を一人で実現することには限界があることから、一人ひとりを取り巻く社会環境や保健環境等を整備し、住民の健康づくりを支援していくことが不可欠です。

また、母子保健や成人・高齢者保健を推進し、さらに障がい者（児）の健康問題への対応や感染症の拡大防止等により、住民の健康保持を図っていく必要があります。

これらを踏まえ、「特定健康診査等実施計画書」をはじめとする関連計画や具体的な保健対策を基に、行政、地域団体、関係機関・団体、企業、学校等が役割を分担しながら住民の健康づくりと保健対策を推進します。

### ②だれもが安心して暮らせる体制の確立

住みなれた地域で、健康で生きがいを感じながら生活を送ることは、住民共通の願いです。在宅生活を基本とする現在の考え方のもと、快適な住環境の中で適切な在宅サービスや通所サービスを利用しながらリハビリテーションも受けられる体制づくりを推進するなど、住民としてその人に合った自立（自己決定できる環境が保障されること）と社会参加を実現していくことが必要になります。

このためには、住民が安心して保健・医療・福祉サービスの提供を受けられるよう、行政や関係機関・団体等が連携し、保健・医療・福祉体制の一層の整備・充実に努めます。

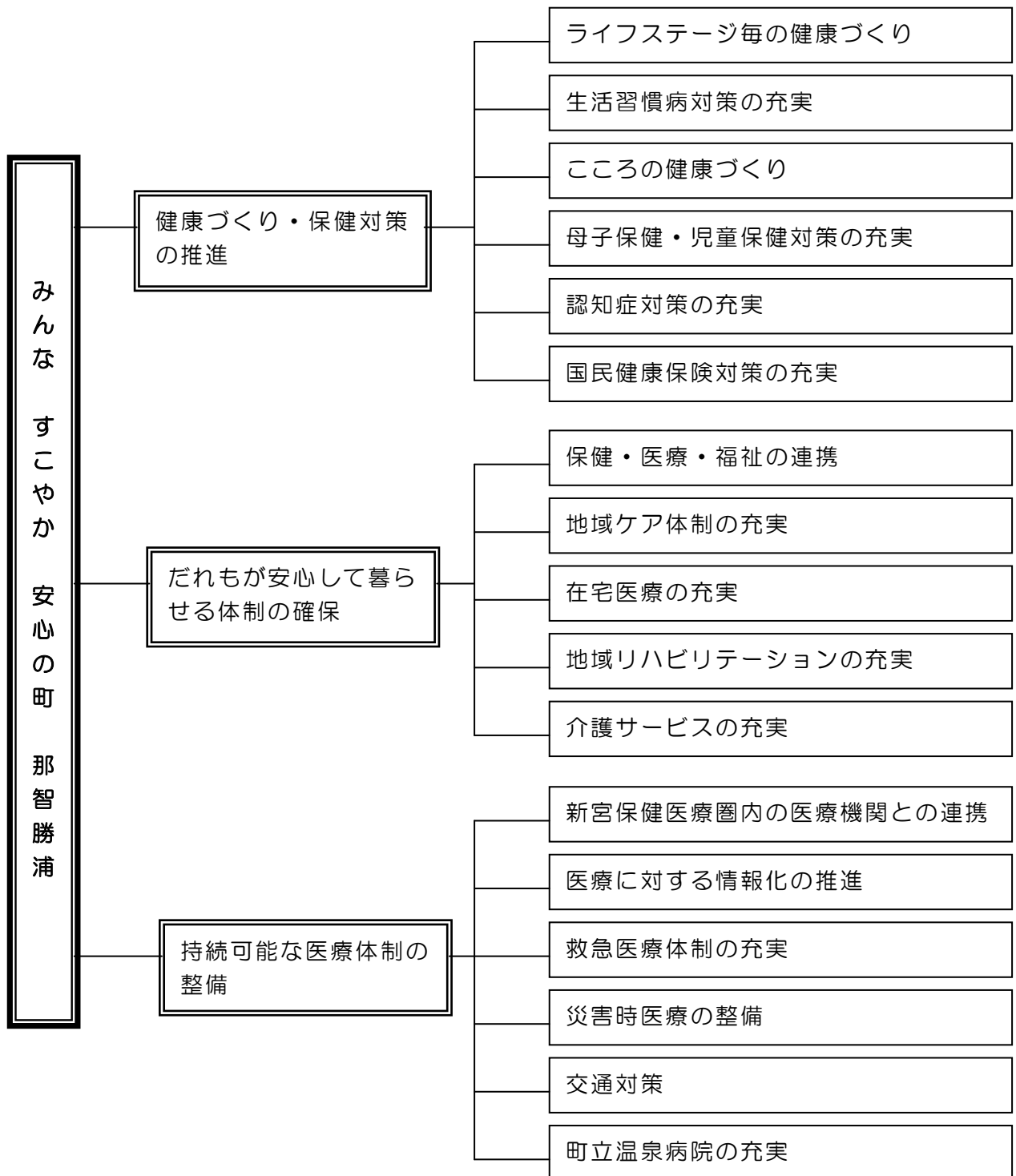
施設の整備については、特別養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、有料老人ホーム等の施設のあり方など、多面的な検討が必要です。住民のニーズ、国・和歌山県等の動向を見ながら整備について検討して行くとともに、地域の包括的ケアを図る介護のまちづくり地域システム構想を推進します。

### ③持続可能な医療体制の整備

住民の健康づくりや医療体制の整備・充実のためには、その基盤となる医療施設等の整備が不可欠です。住民が日常生活の中で積極的に健康づくりに取り組んだり、罹患したときに安心して医療機関にかかれるよう、住民の利便性も考慮に入れた医療施設等の整備や人材の育成等を関係機関・団体と一体となって推進します。

また、高齢化に伴う社会構造や疾病構造の変化により、住民の医療に対するニーズは多様化しており、単独の医療機関で全ての医療ニーズに対応するのではなく、病診連携・病々連携等が進められています。今後とも、「町立温泉病院」と「新宮市立医療センター」等や地域の診療所間のネットワーク化を推進します。

【基本理念・基本方針・施策項目の流れ】



◎那智勝浦町医療・健康福祉基本構想（那智勝浦町すこやかプラン）は、関係法令の改正や社会経済情勢への対応が求められる場合など、必要に応じ見直しを行います。  
 ◎那智勝浦町医療・健康福祉基本構想（那智勝浦町すこやかプラン）の進捗状況や達成状況を点検し、課題の分析や評価、施策の提言などを行うため、「那智勝浦町すこやかプラン推進会議（仮称）」を設置します。